

令和2年度 神奈川県立横浜国際高等学校 指導計画（予定）

教科・科目	歴史 (SL)	学年	2, 3	教科書	・Causes and effects of 20th-century wars, HODDER EDUCATION
		単位数	3, 3	副教材	・The move to global war, HODDER EDUCATION など

学習目標	<p>1. 「人々の経験と行動」、「物理的・経済的・社会的環境」、「社会制度や文化的慣習の発展とその歴史」について、体系的かつ批判的な学習を奨励する。</p> <p>2. 個人と社会の性質や活動についての理論、概念、議論を認識して、それらを批判的に分析、評価する力を育む。</p> <p>3. 歴史を研究するためのデータを収集して説明および分析する能力、仮説を検証する能力、複雑なデータや文献を解釈する能力を育む。</p> <p>4. 学ぶということは自分たちが属する社会の文化と他の社会の文化の双方に関連するものであるという理解を促す。</p> <p>5. 人々の態度や意見は多様であり、社会の研究にあたってはその多様性を受け入れる必要があるという理解を育む。</p> <p>6. グループ3の科目の内容や方法論には議論の余地があり、この分野の学問では不確実性を容認する姿勢が求められるという認識を育む。</p>
学習方法	<p>生徒は基本的にはIBの歴史の教科書を用い、適宜日本の教科書や資料集を使用する。質はそこで保たれると考えており、量については生徒の状況を見ながら、歴史書の紹介をしていくことも考えられる。教科書は主に英語であるため、ユニットの学習項目と内容が重なる日本語の歴史新書を紹介し、定訳を確認したり内容理解のサポートとなる。</p> <p>また、図書館の蔵書も活用できる。校外の資料へのアクセスとしては神奈川県立の図書館や国立国会図書館へのアクセスを考えている。そこで研究に必要な論文を入手して参考文献とすることで、生徒の学習や研究が深まる。</p> <p>歴史に関する映像教材を授業の導入に用いることで当時の世界情勢の雰囲気やイメージをつかむことに貢献できる。</p> <p>異なる国の教科書を手し、比較・対比をすることで現代の国家の思惑や認識の違いを学ぶことも出来る。これはTOKの学習や国際的視野の涵養にも役立つ。</p>

内容のまとめり	時期	単元(題材)	評価方法
世界史トピック11 ・20世紀の戦争の原因と結果(ペーパー2)	1年次 1-3月	第一次世界大戦の原因、過程、結果 ・経済、イデオロギー、政治、領土 ・短期的要因と長期的要因 ・技術開発 ・政治的影響、女性の役割や地位の変化	ペーパーテスト レポート プレゼンテーション ディスカッション 話し合いへの参加 口頭発表
世界規模の戦争への動き(ペーパー1)	2年次 前期	・東アジアにおける日本の拡張政策(1931-41) ・ドイツとイタリアの拡張政策(1933-40)	
世界史トピック11 ・20世紀の戦争の原因と結果(ペーパー2)	2年次 後期	第二次世界大戦の原因、過程、結果 ・経済、イデオロギー、政治、領土 ・短期的要因と長期的要因 ・技術開発 ・政治的影響、女性の役割や地位の変化	
世界史トピック12 ・冷戦: 超大国間の緊張と対立(20世紀) (ペーパー2)	3年次 前期	冷戦の対立関係、不信、和解 ・アメリカとソ連が果たした役割 ・中ソ関係と米中関係 ・軍拡競争 指導者と国家 ・スターリン、トルーマン ・冷戦がドイツと朝鮮に及ぼした影響 冷戦が引き起こした危機 ・キューバ危機 ・北朝鮮の韓国侵攻	
振り返り・復習	3年次 後期	主に第一次世界大戦、第二次世界大戦、冷戦を中心に復習し、それらに関連付けて二年間で学んだ項目を復習	

最終試験 評価項目	外部評価 (EA)	Paper 1	5つの「指定学習項目」より1項目選択。	30%
		Paper 2	2つの「世界史トピック」に関する2つの小論文形式の問題	45%
	内部評価 (IA)	「歴史研究」		25%